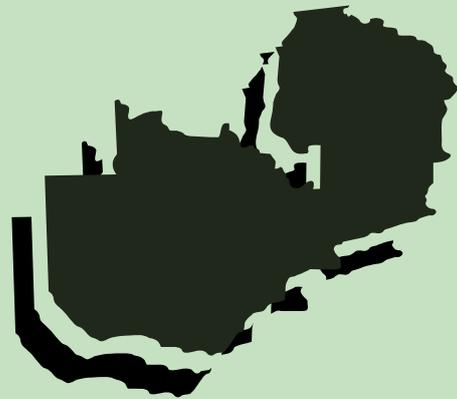


世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ザンビア共和国 



【表紙の写真】

(上) ビクトリアの滝

世界遺産の「ビクトリアの滝」。現地の人々には「モシ・オ・トゥニャ」（雷鳴の轟く水煙）と呼ばれています。

(下) ザンビアの女性たち

とある地方の小自作農の女性たち。カラフルなチテンゲを身につけています。

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜザンビア共和国?

第1章 ザンビアってどんな国?

= 人にも自然にも動物にも優しい

誇り高き南部アフリカの内陸国 =

- 05 三択クイズ「ザンビアってどんな国?」
- 07 ザンビアを知り、日本を語ろう!
- 09 ザンビア・クワチャからザンビアが見えてくる
- 13 ザンビアを垣間見る9つのウソ・ホントクイズ!
- 15 ちょっとブレイク ~地域のハブを目指すザンビア~

第2章 へえ~! ザンビアと日本

- 17 ザンビアと日本、Yes.No.クイズ
- 19 勉強するには何がいる? 勉強するのは何のため?
- 21 日本とザンビアをつなぐ スポーツ&音楽!
- 25 ちょっとブレイク

~かつて「北ローデシア」と呼ばれたザンビア~

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

- 27 平均寿命46歳 エイズに取り組むザンビア
- 29 アフリカにおける民主主義と平和のオアシス

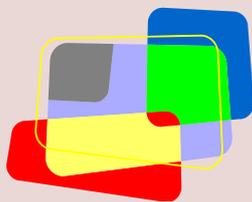
第4章 そして未来へ

- 33 未来を語ろう!

~忘れない。日本の強さと世界の優しさ~

参考資料

- 37 目で見るザンビア
- 39 ザンビア地図
- 41 参考文献・データ等の出典
- 41 ご協力いただいた方たち
- 41 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ザンビアのほんの一面です。本書だけでザンビアのすべてがわかるわけではありません。ザンビアに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(公財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(公財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。(http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html)

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜザンビア共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

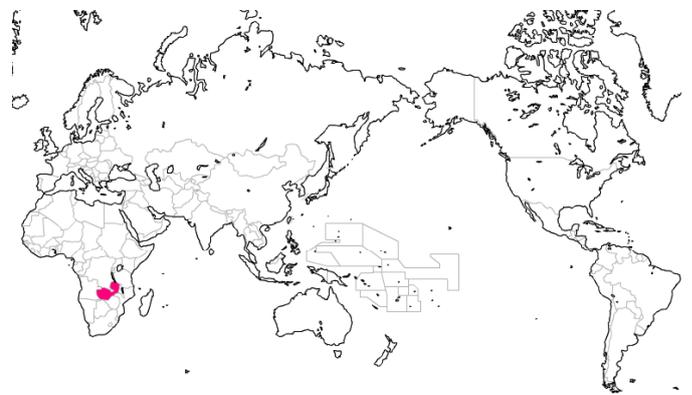
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、**ザンビア共和国**のホームシティは岡崎市でした。



愛知万博 / アフリカ共同館



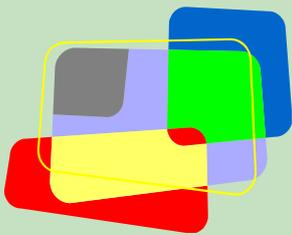
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマ・ヒーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニューージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

ザンビアってどんな国？

= 人にも自然にも動物にも優しい
誇り高き南部アフリカの内陸国 =



三択クイズ「ザンビアってどんな国？」

① みなさんはザンビアについてどのくらい知っていますか？

- 1 ザンビアの正式国名はどれでしょう？
ア) ザンビア王国 イ) ザンビア共和国 ウ) ザンビア連邦

ちなみに、

『王 国』とは、国王が君主の国。

『共和国』とは、国民の選んだ代表が話し合って政治を行う国。多くの場合選挙で選ばれた大統領が元首(国家を代表する人)を務めます。

『連 邦』とは、主権をもった共和国や州が集まってできている国。アメリカ合衆国も連邦国家です。

- 2 ザンビアはどの大陸にあるでしょう？
ア) アフリカ大陸 イ) ユーラシア大陸 ウ) 南北アメリカ大陸

- 3 次の中で、ザンビアにはないものはどれでしょう？
ア) 高い山 イ) 湖 ウ) 海



- 4 ザンビアと国境を接している国はいくつあるでしょう？
ア) 3つ イ) 6つ ウ) 8つ



- 5 ザンビアという国名は何によるでしょう？
ア) 川の名前 イ) 山の名前 ウ) 伝説の英雄の名前

- 6 ザンビアの国土は日本と比べてどれくらいでしょう？
ア) 日本の約半分 イ) 日本とほぼ同じ ウ) 日本の約2倍



- 7 ザンビアの人口は日本と比べてどれくらいでしょう？
ア) 日本の1/10 イ) 日本の1/5 ウ) 日本の1/2

- 8 ザンビアの気候はどのようでしょう？
ア) 熱帯のジャングル地帯で1年中雨がよく降り、暑い。
イ) 日本と同じように四季があり、過ごしやすいが、南半球のため、季節は日本と逆である。
ウ) 熱帯性気候だが、高地ではそれほど暑くない。乾季と雨季がある。



ザンビアってこんな国！

1 イ) ザンビア共和国

正式名称は英語で *Republic of Zambia* (リパブリック・オブ・ザンビア)、通称 *Zambia* (ザンビア) で、日本語の表記は「ザンビア共和国」となります。かつてはイギリス領北ローデシアであった地域で、現在はイギリス連邦に加盟しています。

2 ア) アフリカ大陸

アフリカ大陸の南部にあります。地図の中でみつけてみよう！



【アフリカ大陸地図】



3 ウ) 海

地図で見るとわかるように、ザンビアは内陸国なので、海はありません。国土の大部分が高原で、高い山としてはマフィンガ丘陵 (2,329 m) などがあります。湖はタンガニーカ湖、バングウェウル湖、ムウェル湖、カリバ湖などがあります。

4 ウ) 8つ

ザンビアと接している国はタンザニア、マラウイ、アンゴラ、ジンバブエ、ナミビア、モザンビーク、コンゴ民主共和国、そしてボツワナです。ボツワナとザンビアは川をはさんでわずか1.6kmだけ接しています。ここは交通の要で川に橋をかける計画もあります。

5 ア) 川の名前

ザンビアの西部から東のモザンビークへ流れるザンベジ川は、ザンビアの南側の国境となっている重要な川で、この川が国名の由来となっています。

ザンベジ川



6 ウ) 日本の約2倍

ザンビアの総面積は752,614km²、日本の総面積は377,914km²なので、ザンビアの面積は日本の約2倍です。

7 ア) 日本の1/10

ザンビアの人口は約1,300万人 (12,935,368人)、日本の人口は約1億3,000万人 (127,560,000人) なので、ザンビアの人口は日本の約1/10です。



2009年世界銀行

8 ウ) 熱帯性気候だが、高地ではそれほど暑くない。乾季と雨季がある。

ザンビアは、ほぼ南緯10～15度のところに位置しており、熱帯性の気候です。しかし、アフリカ大陸の内陸部で高原が多いため、暑さをしのぐことができます。海に面していないので、一日の寒暖の差は激しいです (首都ルサカの場合、最も暑い10月の最高気温は31℃、最低気温は17℃)。季節は雨季と乾季に分けられます。さらに乾季は、乾燥して涼しい5～8月と、乾燥して暑い9～10月に分かれます。雨季は11～4月で湿って暖かい季節です。首都のルサカは、標高が約1,200mで、1月の平均気温は21℃、7月の平均気温は16℃です。

ザンビアを知り、日本を語ろう！



ザンビアってどんな国だろう？ 人々はどのように暮らしているのだろう？
ザンビアという国や暮らしについて知り、日本をふりかえてみよう。



ザンビアは内陸国です！



ザンビアは海に面していない内陸国！ 周りを国境を接する8カ国に囲まれています。その国境線の所々には、「国境ポスト (border post)」と呼ばれる、人や車両や物品の出入国を管理するための事務所が置かれています。内陸国のメリットは、海に隔てられていないので、周辺国と人や物が容易に行き来できること。他国との交流や、周辺の国々との地域協力が進展していること。特にザンビアはその地理的位置から、この地域の交通・輸送網の中心的役割を果たす存在として期待されています。一方内陸国の課題は、陸路を使っての物の輸出入に輸送コストがかさむということ。また、周辺の国々で紛争や混乱が起きた時、ザンビアに大量に難民が押し寄せました。周辺国から大量に流入した銃器を使った犯罪が起きたりもしています。ザンビアは、内陸国であることのメリットと課題の両面を持っています。

さて、日本は海に囲まれた島国です。島国のいいところや課題についても考えてみましょう。



豊かな自然と野生動物の宝庫！ 世界遺産のビクトリアの滝は世界三瀑布の1つです！

2010年の世界平和度指数ランキングで、ザンビアは149カ国中51位となり、アフリカでもっとも平和な国の一つとして評価されています。そしてザンビアには、世界遺産であるビクトリアの滝、荒涼としたザンベジ川、美しい湖や湿地など、手付かずの豊かな自然が残っています。19の国立公園と23の動物保護区があり、アフリカ大陸で見受けられるほとんどの動物を見る事ができます。中でもカフエ国立公園はアフリカ最大級、かつ、世界第2位の大きさと長い歴史を誇り、ゾウ、カバ、バッファロー、アンテロープ、珍しいシタツンガやレッド・レチエなども生息する野生動物の聖域です。



安藤広実



wikipedia



世界遺産であり世界三大瀑布の一つと称されるビクトリアの滝は、土地の人々から、「モシ・オ・トゥンヤ (Mosi-Oa-Tunya) “雷鳴の轟く水煙”」と呼ばれ、滝幅の全長は約1.7kmにも達します。小型飛行機による滝の上の飛行、川下りやカヌー乗り、魚釣り、ビクトリアの滝の橋からザンベジ川に向かってのバンジージャンプを体験することもできます。



初めて日本を訪れる人、初めてあなたが暮らすまちに旅行で来る人がいるとしましょう。日本やあなたのまちのどんなところを見てもらいたいですか？ 地域の宣伝大使になったつもりでアピールすることを考えてみましょう。



一言でザンビアと言っても、都会もあれば田舎もあります！

ザンビアは、首都ルサカのような都会があったり、リアルイのような田舎があったり、ビクトリアの滝のような一大観光地があったり、カフエ国立公園のような大自然があったりと様々で、それぞれで印象も異なります。



wikipedia



ザンビアという国の大まかな様子や暮らしぶりを読み取り、多文化に関心を持ち、自分の国や暮らしをふりかえる。



①首都ルサカには、日本と変わらない大きなデパートやレストラン、高層ビルがあります。

②地方都市に行くと、メインロードはきれいに舗装されていても、一本奥に入ると未舗装の道路になります。



③人々の生活に欠かせない布「チテンゲ」を売るお店です。女性たちはこの布を腰に巻いてエプロンやスカートがわりにしたり、赤ん坊をおぶったりします。

④地元のひと御用達のマーケット。野菜などの食品だけでなく、日用雑貨品もほとんどここでそろいます。砂糖や油は小売でも買うことができます。



⑤近中距離移動には、ミニバスや乗り合いタクシーが発達しています。ミニバスは、満席になったら出発です。長距離移動の手段としては列車もありますが、時間どおりに発車しないこともある（12時間待ちとか）ので、ある程度お金に余裕のある人たちはバスを選びます。

⑥長距離バスでは、整備不良による故障のため、乗客が草原で降ろされるということも、ごくたまにあります。



日本も地方ごとにいろいろな顔を持っていますね。ビルに囲まれた大都会もあれば、風光明媚な観光地もあります。あなたの暮らしているまちの様子や人々の暮らしについて、みんなで模造紙にまとめてみましょう。

* : wikipedia / *以外 : 安藤広実



ザンビアの主食はシマ! トウモロコシで作るお餅のようです!

ザンビアの主食「シマ」は、沸騰したお湯にトウモロコシの粉を少しずついれて木べらで練り、餅のように粘り気のある状態にしたものです。付け合わせは肉、魚、野菜、卵、ピーナッツ、豆、オクラのスープなど。どれも油・トマト・塩で味付けされ、食べる時は手で食べます。飲み物はフルーツジュースやビールの他に、植物の根から作るノンアルコール飲料も一般的です。



安藤広実



さて、これは何でしょう?



どんな国にも誇りがあれば、課題もあります。日本はどうでしょうか? 「日本のちょっと残念なこと」は何か、それはどうしたらなくなるのか、話し合ってみましょう。

左から、すべての窓に鉄格子が入った様子、日常使いの鍵束、寝室と玄関についでいる鉄格子のドアです。アフリカの中では比較的安全といわれるザンビアですが、歴然とした貧富の差があり、日本と比べると様々な防犯対策が必要なのです。ちょっと残念なことですね。

安藤広実



ザンビア・クワチャからザンビアが見えてくる

① ? ザンビアの通貨「ザンビア・クワチャ」を通して、ザンビアのことをもっと知ろう!

1 ザンビア・クワチャ (Zambian kwacha) は、1968年より導入されたザンビアの通貨単位です。「クワチャ」とは、公用語のベンバ語で何を意味するでしょう?

- ① 豊作 ② 夜明け ③ 幸福

2 ザンビアの紙幣の旧札、新札に一貫して描かれて続けているものは何でしょう?



① 初代大統領ケネス・カウンダ
大統領の肖像



② 国鳥サンシヨクウ
ミワシ



③ 独立の象徴、英雄
チェーンプレーカー像



3 ザンビアでは2003年に、500クワチャと1,000クワチャ紙幣に、紙ではない素材を導入しました。さて、その素材は何でしょう?

- ① プラスチック ② 布 ③ 皮革

4 ザンビア・クワチャの額面は5万、2万、1万、5千、千、500、100、50、20の9種類。紙幣の裏面には、額面ごとに異なる野生動物と、名所や名物などが描かれています。その9種類のザンビア・クワチャを、P.11に並べました。紙幣A~Iの左に描かれた動物とP.12のヒントを参考にしながら、それぞれが何クワチャ紙幣かを当ててみましょう。

P.11へ!

5 ザンビアでは、都会か地方かによっても異なりますが、物価は概して高めです。ザンビアで生産された物は安く、輸入製品は高くなります。日用品は南アフリカなどからの輸入品が多く、日本より高いものもあります。同じ商品でも場所によって値段が倍ほど違ったり、逆に交渉次第でまけてくれることもあるようです。どんなものがいくらくらいするのか、ちょっと見てみましょう。

ZMK=ザンビア・クワチャ、2009年の相場

炭酸飲料350cc	4,000 ZMK (80円)	食堂のシマ(主食)	5,000 ZMK (100円)
ミネラルウォーター2L	5,000 ZMK (100円)	食堂のシマ&チキン	8,000 ZMK (160円)
コピー1枚	200 ZMK (5円)	ハンバーガー	12,000 ZMK (240円)
長距離バス代 (600km)	110,000 ZMK (2,200円)	バナナ1房	1,500 ZMK (30円)
治安のいい場所の 家賃1カ月分	1千万 ZMK (20万円~)	牛肉1kg	12,000 ZMK (240円)
公立高校の学費 1年間分	125,000 ZMK (2,500円)	シャンプー	25,000 ZMK (500円)

国連の統計によると2009年度のザンビアの一人当たりのGDPは約985米ドル(約8万1千円)でしたが、人口の98%が1日2米ドル(1米ドル=82円)以下の生活をおくっていると言われ、一般庶民の生活は極めて貧しい状況です。(※1米ドルの計算は2012年3月の為替レート)

もしもあなたが1日164円で生活をしなければならぬとしたら、どんな暮らしになるでしょう?



紙幣から見えるザンビア

1 ②夜明け

クワチャとは、公用語のベンバ語で「夜明け」という意味です。ザンビア・クワチャには硬貨がなく、全部紙幣です。額面は5万、2万、1万、5千、千、500、100、50、20があります。

ザンビア・クワチャは、1968年にそれまでのザンビア・ポンドに代わって導入されました。通貨コードはZMK。補助単位はングエー (ngwee) で、1クワチャ=100ングエーです。「ングエー」とは、ニャンジャ語で「輝かしい」という意味です。

大きさは高額紙幣になるにつれて大きくなっていますが、見ただけではほとんど変わりません。色もすべてのお札で異なっていて、とてもカラフルです。グラデーションがよく使われていて、濃淡がハッキリしています。また、偽造防止のために、1,000クワチャと500クワチャだけ紙ではなく薄いビニールのような素材で作られ、すかしも入っています。

2 ②国鳥サンショクウミワシと③独立の象徴チェーンブレイカー像

全部の紙幣に共通して、ザンビアの国鳥であるサンショクウミワシと、独立時に活躍した英雄チェーンブレイカーの銅像の絵が描かれています。1991年までのザンビア・クワチャには、初代大統領ケネス・カウ ندا大統領 (在任1964年-1991年) の肖像が用いられていましたが、彼が選挙に敗れて下野した1991年以降現在に至るまで、紙幣にはいかなる人物の肖像も用いられてはいません。

ザンビア・クワチャの表面には、英語で金額が中央に印字されており、国鳥サンショクウミワシと額面ごとに異なる樹木が描かれています。裏面には、額面ごとに異なる野生動物と名所・名物が描かれています。



【表面】サンショクウミワシ



【裏面】英雄チェーンブレイカー像

3 ①プラスチック

ザンビアでは、2003年9月に、ポリマー紙幣と言われるプラスチック製の500クワチャと1000クワチャがザンビア銀行から発行されました。しかし、カナダの造幣メーカーによって印刷されたこのポリマー紙幣は、水につけたり加熱したりすると文字が消えるという苦情があいつぎ、2005年に、ザンビア中央銀行は同国の普通銀行と各種金融機関に紙幣の回収を命じました。その後、そのポリマー紙幣を印刷したカナダの造幣メーカーは、改良された新ポリマー紙幣を新たに無料で印刷しなおしました。

4 [A] 20クワチャ



[B] 1,000クワチャ



[C] 50000クワチャ



[D] 100クワチャ



[E] 500クワチャ



[F] 50クワチャ



[G] 10,000クワチャ



[H] 5,000クワチャ



[I] 20,000クワチャ



正解できたかな？



P.9 ④の問題とヒントです。



9種類のザンビア・クワチャ! さて、何クワチャでしょうか?

A



B



C



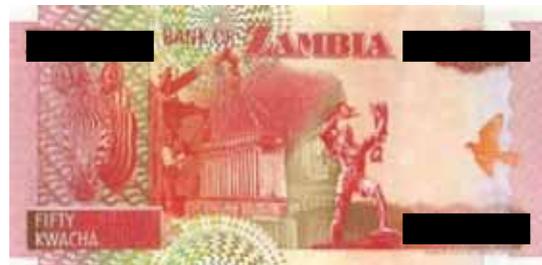
D



E



F



G



H



I





ヒント!

紙幣それぞれに描かれている動物の写真と名前です。わかるかな?

[20 クワチャ]
クーズー



[50 クワチャ]
シマウマ



[100 クワチャ]
アフリカ水牛



[500 クワチャ]
アフリカゾウ



[1,000 クワチャ]
ツチブタ



[5,000 クワチャ]
ライオン



[10,000 クワチャ]
ヤマアラシ



[20,000 クワチャ]
クロリーチュエ



[50,000 クワチャ]
ヒョウ



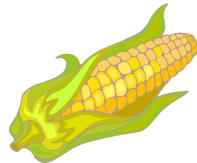
ザンビアを垣間見る9つのウソ・ホントクイズ！

❓ ザンビアはどんな国か、多方面のトピックスから感じてみよう！

① ザンビアの世界遺産「ビクトリアの滝」のすぐ上には、人が泳ぐプールがある。



② ザンビアの主食の穀物はトウモロコシで、粉にして水で練って焼いて食べている。



③ ザンビアの大統領選挙の時は、候補者の顔入り腰巻きで支持する候補者をPRする。



④ ザンビアには73の民族があり、地域が異なると全く話しをすることができない。



⑤ ザンビアには世界最大級の人造湖があり、水力発電をしている。



⑥ ザンビアでは、フルーツが豊富に収穫できる。



⑦ ザンビアは、アフリカの中では平和な国とされている。



⑧ ザンビア人は、日本人と気質が似ているといわれている。



⑨ ザンビアには、英国をはじめとしたヨーロッパの車が走っている。





まだまだあるよ！ザンビアのいろいろ

1 ホント

ザンビアには、世界遺産「ビクトリアの滝（ザンビア名「モシ・オ・トゥニャ）」がありますが、この滝の上の川に、自然のプールが設けられています。誤って落ちると100メートルほど下へ転落してしまうため、「世界一危ないプール＝デビルズプール（悪魔のプール）」と呼ばれています。水量が少ない時期にだけ入ることができるそうです。

世界一危ない「悪魔のプール」▶



2 ×ウソ

ザンビアの主食は「シマ」という、トウモロコシの粉（メイズ）を煮て水で練ったマッシュポテトのようなものです。シマは、味付けはせず、おかずといっしょに食べます。ザンビアでは、「どんなに豪華な食事をごちそうになってもシマがなければ意味がない」、「シマを食べない子は元気に育たない」と言われています。

3 ホント

ザンビアの代表的な衣類「チテンゲ」は、柄物の一枚布を仕立て、腰に巻いたり、赤ん坊をおぶったり、みんなとてもおしゃれに使います。選挙の時は候補者の顔入りのチテンゲが登場し、町中を練り歩くことで支持する候補者をPRします。

主食の「シマ」を作っているところ▶
腰に巻いてスカートにしているのが「チテンゲ」



4 ×ウソ

ザンビアには73の民族（トンガ系、ニャンジア系、ベンバ系、ルンダ系）があり、それぞれに言語があります。しかし、過去、英国の植民地だったことから公用語は英語で、小学校4年生から英語での授業が始まり、高校生なら普通に英語が話せます。逆に最近では英語しか話せない子も増えてきました。

5 ホント

ザンビアにはカリバダムによってできた人造湖「カリバ湖」があり、世界最大級です。ザンビアの電力はこのダムの水力発電に頼っています。しかし、乾季になると計画停電も頻繁におきます。しかし、ザンビアの人は停電もあたかも自然現象かのように受け止めているようです。



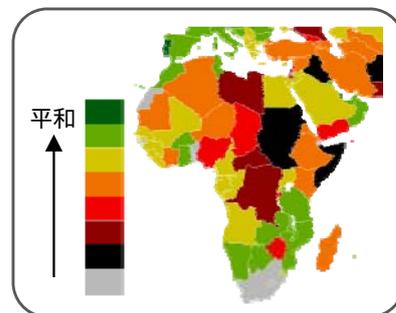
▲フルーツいっぱい!市場のようす

6 ホント

ザンビアは熱帯性気候であり、マンゴーは身近なところに木があり、季節になればあちこちで手軽に手に入ります。また、バナナは1年中あり、ひと房20円くらいで売られています。

7 ホント

イギリスのエコノミスト紙が24項目にわたって153カ国を対象に分析し、各国や地域がどれくらい平和かを相対的に数値化した「世界平和度指数」ランキングにて、2011年度、ザンビアは52位でした。アフリカの中では平和度が一番高いカテゴリーに入っています。1964年の独立直後には、黒人への差別を公然と行う南アフリカ共和国等に対し、自国が経済的不利益をこうむってまでも経済封鎖に参加し、差別撤廃のために主権を行使しました。



▲世界平和度指数2011

8 ホント

一概にはいえませんが、シャイなところ、本音と建前を持つところ、人を立てるところ、目上の人を優先するところなど、「NOと言えない日本人&ザンビア人?」というほど日本人と気質が似ていると言われています。

9 ×ウソ

ザンビアで走っているのはほとんど日本の中古車です。ザンビアでは車は左側通行なので、右ハンドルで故障が少ない日本車は人気なのです。場違いなところに「日本の幼稚園の送迎バス」が現れたりします。



ちょっとブレイク

～地域のハブを目指すザンビア～



南アフリカの回廊

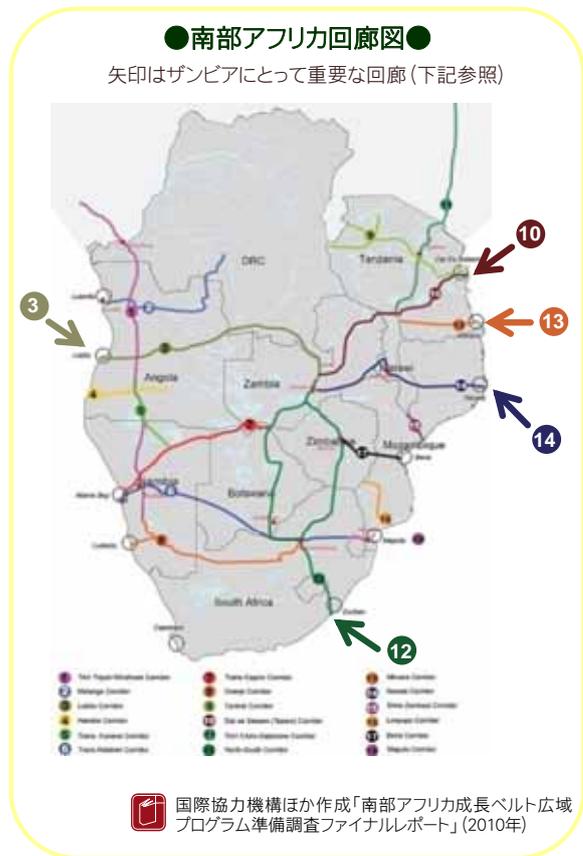
内陸国ザンビアがその特徴をプラスに活かす方法とは…。それは、ザンビアが南部アフリカの交通・輸送網のハブとなることです。ザンビアは、南部アフリカの中心部にあり、この地域の東西、南北を結ぶ要です。すなわち、東はインド洋岸のタンザニア、モザンビークから西は大西洋岸のアンゴラ、ナミビアまでの東西の線、北はコンゴ民主共和国から南はジンバブエ、ボツワナからさらに南アフリカまでの南北の線、これら東西南北の線が十字に交わる中心がザンビアです。

南部アフリカでは地域協力が進展しており、この地域全体としての発展を考える機運が高まっています。アフリカ大陸の内陸部には資源が豊富に存在しており、それらの資源を国から国をまたいで港まで運ぶ運輸インフラ(回廊)の整備とともに、道路・鉄道・港湾の周辺の資源開発や各種産業の振興を図ろうというのです。こうした構想に基づく取り組みが、南部アフリカだけでなく、AU(アフリカ連合)を中心に大陸全体にわたって進められています。

地図を見ると明らかなように、ザンビアには、南部アフリカの重要な回廊が集中しています。また、回廊上に位置する国境でワンストップ・ボーダー・ポスト「OSBP」の整備が進められています。これは通関手続きを簡素化することで、円滑に国境を通過できるようにするもので、輸送効率の大幅な向上につながります。

日本は、アフリカの回廊における運輸インフラ整備やOSBP設置による広域インフラ開発を、ODAによって重点的に支援しています。ザンビアにおいては、ジンバブエとの間のザンベジ川に架かるチルンド橋の建設と同地におけるOSBP化に協力しました。これにより南北回廊の輸送が大きく円滑化されています。

ボツワナとの国境のカズングラでもザンベジ川に橋(カズングラ橋)を建設する計画があり、OSBP化も含めて日本の協力が検討されています。ここは南北回廊の重要な国境であるにもかかわらず、現在、ポンツーンと呼ばれる舟(はしけ=写真下)による通行しか手段がありません。ポンツーンは限られた数の車両しか乗せられないので、物資を満載した沢山のトラックが国境で長時間、時には何日も通過待ちをするという状態となっています。カズングラ橋ができれば南北回廊の物流が飛躍的に円滑化されることになります。



▲ザンビア川を渡るポンツーン

上: 在ザンビア日本国大使館ウェブサイト
下: 神園 索己

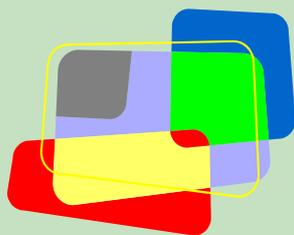
また、コンゴ民主共和国を経てアンゴラのロビト港を結ぶ輸送の動脈「ロビト回廊」はザンビア内で南北回廊とつながっていて、まさにザンビアがハブの位置にあります。この回廊でも国境ポストの施設が新たに建設され、国境の通過時間が大幅に短縮されました。今後、ザンビアと周辺8カ国との主要な国境ポストが順次整備され、OSBP化されていき、将来ザンビアが地域の運輸交通のハブとなることが期待されています。

ザンビアにとって重要な回廊

- ③ ロビト回廊 / ザンビア アンゴラ : ロビト港
- ⑩ タザラ回廊 / ザンビア タンザニア : ダルエスサラーム港
- ⑫ 南北回廊 / ザンビア ジンバブエ・ボツワナ 南アフリカ : ダーバン港
- ⑬ ムトワラ回廊 / ザンビア マラウィ タンザニア : ムトワラ港
- ⑭ ナカラ回廊 / ザンビア マラウィ モザンビーク : ナカラ港

 第2章

へえ～！ザンビアと日本



ザンビアと日本、Yes.No.クイズ

❓ ザンビアと日本、こんなところでつながっていた!

① ザンビアは銅の産地として有名で、日本の10円玉にもザンビアの銅が使われている。



② ザンビアはサッカーがさかんでザンビア出身のJリーグ選手が日本で活躍している。



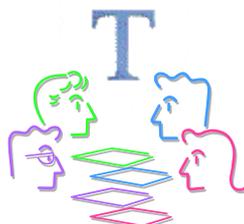
③ タンザニアとザンビアをつなぐタンザン鉄道は日本の援助でつくられた。



④ 日本からザンビアへの援助額はアフリカの中で多い方である。



⑤ アフリカの成長の道筋を話し合うTICAD (アフリカ開発会議)のTは東京の頭文字である。



⑥ 日本から渡った僧侶の努力でザンビアでは仏教徒が多い。



⑦ ザンビアには世界遺産になった有名な滝があるがこれは日本人が発見したものである。



⑧ ザンビアの国旗が世界に向かって示された最初の場合は東京オリンピックの閉会式である。



⑨ この写真で生徒たちがもっている野球用具は日本から送られたものである。





ザンビアと日本、こんなところでつながっていたんです！

1

ホント

銅はザンビアの主要な輸出品で、日本の10円玉にも使われています。



2

×ウソ

サッカーのさかんなザンビアですが、Jリーグにザンビアの選手はいません。ワールドカップへの初出場の期待が高かった1994年、予選に向かう飛行機が墜落、代表選手のうち18名が亡くなりました。有力選手の多くを失ったザンビアでしたが、2012年のアフリカ選手権で初優勝しました。ワールドカップで日本との試合が見られる日も近いかもしれません。

3

×ウソ

タンザン鉄道は中国の援助でつくられました。ザンビアは銅を南ローデシア(現:ジンバブエ)経由で南アフリカから輸出していましたが、1965年、一方的に独立を宣言し、アパルトヘイト政策をとったローデシアに対し国連が経済封鎖をすると、それに協調、このため銅の輸出ルートを失いました。そこでタンザニアから輸出しようと、中国の援助でタンザン鉄道を建設したのです。

4

ホント

JICA年度報告書によると、日本のザンビアへの援助総額は、サハラ砂漠以南のアフリカ48カ国中、8位(2010年度)、18位(2009年度)、4位(2008年度)となっていて、アフリカの中でも日本からの援助が多い国です。



第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)の街頭垂れ幕▶

5

ホント

「TICAD」とは「Tokyo International Conference on African Development」の略で、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)及び世界銀行等と共同で開催しています。

6

×ウソ

ザンビアの宗教は、8割近くがキリスト教、その他 イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教です。

7

×ウソ

世界遺産「ビクトリアの滝」は1855年、この地を訪れた探検家のリビングストーンが、イギリスの女王ビクトリアにちなんで名付けたものですが、現地の人々には「モシ・オ・トゥニャ」(雷鳴の轟く水煙)としてよく知られた滝でした。なお、当時の日本はと言えば、1854年に日米和親条約が結ばれ、ようやく開国されたころでした。

8

ホント

ザンビアが独立した1964年10月24日は東京オリンピックの閉会式の日でした。ザンビアは北ローデシアとしてオリンピックに初参加をしていましたが、閉会式はザンビアとして行進しました。アルファベット順で最後となるザンビアの代表は開催国日本の前を行進していましたが、国旗に続いて入場してきた各国選手が日本とザンビアの旗手を肩車し、各国入り乱れての選手入場のハプニングとなりました。



▲東京オリンピック聖火台

9

ホント

写真の野球用具はJICAの「世界の笑顔のために」プログラムによって届けられたものです。このプログラムは、開発途上国で教育、福祉、スポーツ、文化などに必要な物品を日本国内で募集し、JICAが派遣中のボランティアを通じて届けるものです。

P22「あなたにもできるザンビアへのスポーツ支援」解説ページ参照



勉強するには何がいる？勉強するのは何のため？



当たり前のように毎日学校に行き、勉強をしている私たち。
勉強するために必要なものや、何のために勉強するのかを、あらためて考えてみよう。

ザンビアの教育制度は、初等教育が7年間、中等教育は2年間のジュニアレベルと3年間のシニアレベルからなっています。初等教育とジュニアレベルの修了時に国家試験があり、これに通らなければ進学・進級はできません。最近では、初等教育とジュニアレベルを合わせた9年制のベーシックスクールと呼ばれる学校も増えています。

首都ルサカにある公立の中高一貫校「ルアングア・セカンダリースクール」の様子を、ちょっとのぞいてみましょう。

- ◆ルアングア・セカンダリースクールはジュニアレベルとシニアレベルを合わせた5年制の公立学校です。1996年に男子校から共学校に移行し、現在、552人の生徒のうち57人が女子です。男子は全員が寄宿舎で生活しています。
- ◆授業は月曜～金曜日の午前7時～午後1時で、40分の授業が7時限まであります。ジュニアレベルでは数学、歴史、生物など9つの基礎科目を、シニアレベルではさらに簿記、商業、農業などの選択科目を学びます。授業はすべて英語で行われますが、現地語のニャンジャ語を学ぶ科目もあります。
- ◆この学校はへき地にあるため、公共の電気・水道・電話が通っていません。また、近年の国の財政難で学校の予算も不足し、食料の調達が困難になりつつあるなど、生徒は不便を強いられています。
- ◆そうした中、生徒たちは先生の指導の下で養豚や牧畜、野菜の栽培を行い、その生産物で食事を補ったり、販売して学校運営に必要な資金に役立てるなど、少しでも快適な生活を送れるよう努力しています。
- ◆そんな彼らが普段心配しているのは、親が学費を滞納し、退学を余儀なくされること。また、マラリアなどの風土病や、学校周辺に生息する毒ヘビやサソリについても不安に思っているようです。
- ◆放課後になると、多くの生徒がクラブ活動に取り組みます。サッカー、バレーボールのほか、アカペラ（無伴奏の合唱）や伝統舞踊のクラブもあります。
- ◆1997年には日本の援助で発電器が設置され、生徒は夜間、教室で自習できるようになりました。
- ◆休日は寄宿舎で洗濯や掃除をしたり、スポーツをして過ごします。長期休暇は、実家に戻って家事を手伝ったり、親戚を訪ねます。

考えよう！



外務省ウェブサイト「世界の学校を見てみよう」

勉強するために必要なものはなんでしょう？付箋紙に書き出し、分類してみましょう。

- ①思いつくものを個人で付箋に書き出す。（1枚に1項目）
- ②グループ（3～5人程度）で、それぞれが書いた付箋を模造紙に貼りながら、同じ内容ごとに分類する。
- ③同じ（または似た）付箋のまとまりをマジックで囲み、それぞれにタイトルをつける。
- ④他のグループとも、回し読みなどの方法で模造紙を共有する。

想像してみよう！

①で書き出した「勉強するために必要なもの」に必要度に応じて優先順位をつけてみましょう。順位を付けたら、「絶対になくしてはならないもの」を1つだけ選び、「もしもそれがなかったとしたら？」を考え、「〇〇のない学校」「〇〇のない教室」などの物語をつくってみましょう。

ふりかえろう！

①で書きだした「勉強するために必要なもの」は自分にはあるかどうか、今の自分をふりかえり、チェックしてみましょう。「あるもの」は赤いマジックで囲み、「ないもの」は青いマジックで囲みましょう。また、ここまでの作業を通して、わかったことや気づいたことを、みんなでお話合ってみましょう。



もっと知ろう!

<ザンビアの教育の課題>と<教科書を作った青年海外協力隊員>を読み、感想を話し合ってみましょう。



<ザンビアの教育の課題>

ザンビアで一番問題とされることが多いのが教育です。どのような課題があるのか見てみましょう。

- 1) **就学率**…初等教育就学率(1997年)は87.8%(男90.6%・女84.9%)。中等教育就学率(1996年)は28.8%(男35.1%・女22.2%)。中等教育に進む段階で、様々な理由により就学する人数が極端に減ってしまう。
- 2) **施設不足**…現在は中学校の絶対数が不足しており、合格しても中学校不足のため入学待ちになることもある。
- 3) **教員の不足**…教員資格には、「小学校教諭」「中学校教諭」「高校教諭」の3種類があるが、現場では無資格教員が非常に多く、有資格教員が不足している。地方へは行きたがらない教員が多く、特に農村の教員が不足している。
- 4) **直接費用の負担**…授業料は無料だが、文房具代、制服代、PTA会費などを親は払わなくてはならず、子どもの多い家庭にとっては、特に大きな負担となっている。
- 5) **教育機関による財源の確保**…教員給与は政府予算から支出されるが、通勤のための交通費、盗難防止のための学校管理人を雇う費用、校舎の維持管理及び補修代、学校の電気代等の光熱費は政府からは補助されない。
- 6) **貧困と児童労働**…貧しい家庭では子どもを学校へ行かせるだけでも経済的な負担が大きい上、子どもは帰宅すると家事の手伝いや子守り、農作業の手伝いをしなければならない。電気のない家庭も多く、家庭での学習時間はほとんどない。最近実施された学力調査(小学校4年生を対象)では、どの教科も7割~8割の生徒が合格点に達していない現実から、「真の問題は初等教育にあり」ともいわれている。

<教科書を作った青年海外協力隊員>

次に紹介するのは、青年海外協力隊の理数科教師として、2007年6月から2009年7月までザンビアに派遣された神園索己(もとき)さんの活動のようすです。神園さんは勤めていた会社のボランティア休暇制度を利用して青年海外協力隊に参加し、ザンビアで物理や数学を教えました。

神園さんが派遣されたのは首都ルサカから約330kmも離れた銀行もスーパーもない田舎町でした。水道が使えるのは1日に2~3時間、電気は通っているものの電圧は不安定な環境でした。緑が多く、のんびりしたところでした。そのような町の中高等学校で、神園さんは物理と数学の授業を担当しました。学校では教師が不足しているだけでなく、教師自身がよくわかっていないことを授業で教えるなど、レベルが低いことが問題でした。活動の中で力を入れたことの一つに、教科書作りがありました。ザンビアの教科書はとても高いので生徒は買えません。そこで、生徒が家で復習や自習が出来るよう、数学の教科書を作って原価(紙と印刷費のみ)で提供しました。これが大変好評で、教師までもが欲しがったほどです。

神園さんにとって一番心に残ったのは、帰国前の最後の授業のことです。生徒たちが泣きながらお別れの歌を歌ってくれました。神園さんが2年間、生徒のためを思ってあれこれやってきたことがちゃんと伝わっていたと思い、とても嬉しかったそうです。



▲授業のようす



●青年海外協力隊とは?

JICA国際協力機構が行う、人を通した協力の1つが『青年海外協力隊』です。活動には140種類くらいの仕事があります。例えばスポーツ関係だったら体育の先生もいれば、野球・バレーボール・柔道・水泳などを専門に教える人もいます。オリンピックに出場するような、その国を代表する選手たちに教えることもあります。その他、食品加工(食品の保存の仕方を教える)、観光業(ホテルやレストランでの接客の仕方を教える)、看護師、小学校の先生、自動車整備など、まだまだたくさんあります。詳しい活動内容を、JICAのウェブサイト『青年海外協力隊』で調べてみましょう!

日本とザンビアをつなぐ スポーツ&音楽！

① スポーツや音楽で、ザンビアの仲間とつながることができたら楽しいと思いませんか？

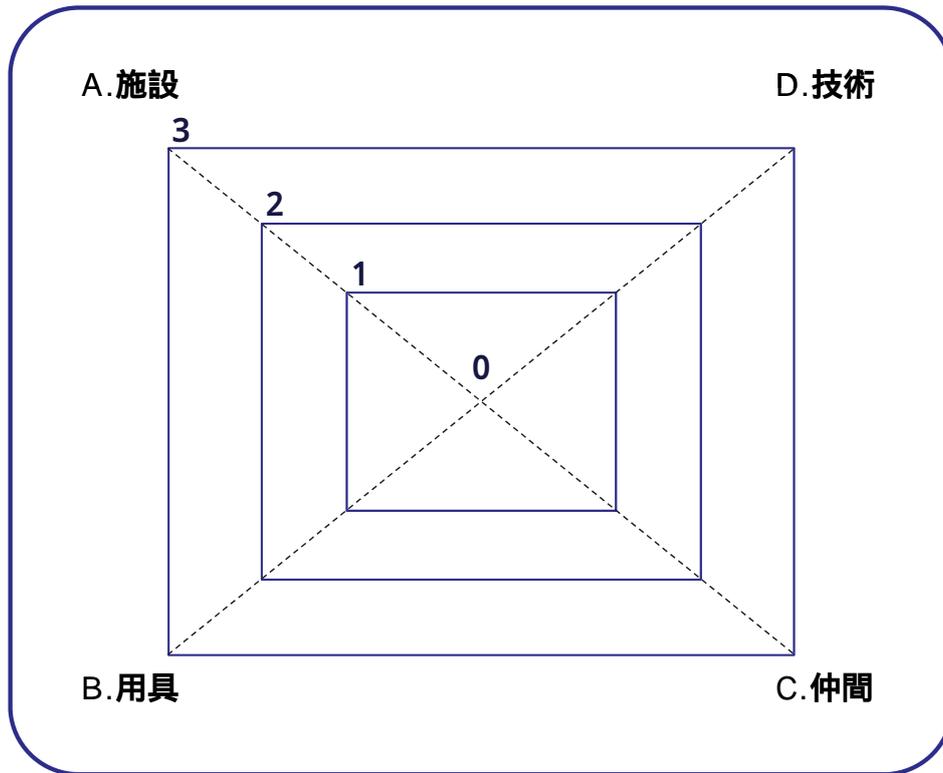
① あなたの好きなスポーツ、好きな音楽はなんですか？

スポーツならば、観戦するのが好きですか？ それとも自分でプレイするのが好きですか？

音楽ならば、聴くのが好きですか？ それとも自分で演奏するのが好きですか？

あなたの好きなスポーツや音楽を楽しむための条件について、P.23の【楽しむための条件】A～Dの視点でふりかえり、点数を下のレーダーチャートに落とし込んでみましょう。

【レーダーチャート】



点数を落とし込んだら、4つの点を線でつないでみよう！



② できあがったレーダーチャートの面積を、他の人の面積と比べてみましょう。

A～Dのそれぞれが3に近いほど、また、それをつないだ四角形の面積が大きいほど、「特別な施設や道具や技術の指導がなくてもできるもの」と言えます。逆にA～Dのそれぞれが1に近いほど、また、それをつないだ四角形の面積が小さいほど、「特別な施設や道具や技術が必要で、条件が揃わなければできないもの」と言えます。

スポーツなどを行うためには、施設や用具のような物質的に必要なものと、仲間や技術(指導者)のような人的に必要なものがあります。たとえばスポーツの中にはスキーや乗馬など、施設や用具がなければできないものもあり、レーダーチャートでA・Bが0点だった場合や、A・Bについて多くのお金がかかる場合には、誰もが簡単に楽しむというわけにはいかないかもしれません。



国境も国籍も越えてつながる支援

音楽やスポーツは国境・国籍を越えて楽しむことができ、人と人をつなぐことにも役立ちます。あなたが好きなスポーツや音楽を、ザンビアの人にも紹介し広げるとしたら、必要なものは何でしょう？ 次の2つの資料も参考にしながら、考えてみましょう。

●ザンビアとスポーツ、そして日本の支援

ザンビアのオリンピックへの初参加は、1964年の東京オリンピックです。その後も1976年のモントリオールを除き、すべての夏期オリンピックに参加をしてきました。これまでの獲得メダルは、1984年ロサンゼルス大会のボクシングで銅1個、1996年アトランタ大会の400mハードルで銀1個の計2個です。ちなみに、およそ80の国・地域が参加する英連邦競技大会においては、独立以来通算27個のメダルを獲得しています。実は日本は、そんなザンビアのスポーツ振興にも協力しているのです。2010年に日本は、ザンビア・オリンピック委員会の要請に基づき、陸上競技場、サッカー競技場、テニスコート等のスポーツ・コンプレックスの整備に約10万ドルの協力を行うこととしました。工事は順調に進んでおり、ほどなく完成する見込みです。また、ザンビア・サッカー協会では青年海外協力隊員が技術指導を行っています。

また、ザンビアでは柔道と空手も盛んに行われており、それぞれ連盟があり、警察や軍では組織的に柔道が取り入れられています。こちらも日本は、文化無償資金協力で畳や機材などの整備に協力しています。青年海外協力隊員も柔道の指導を行っています。空手も多くの流派が道場を構え、毎年、流派の垣根を超えて全国大会が行われています。日本の伝統である武道がザンビアで根付いてきているのです。

●あなたもできるザンビアへのスポーツ支援

JICAは、「世界の笑顔のために」プログラムによって、開発途上国で必要とされている教育、福祉、スポーツ、文化などに必要な物品の提供者を日本国内で募集し、派遣中のJICAボランティアを通じ、世界各地へ届けています。青年海外協力隊の理数科教師として、2007年6月から2009年7月までザンビアに派遣された神園索己(もとき)さんも、日本の仲間が野球道具を集め、このプログラムを通して寄付してくれたおかげで、派遣先のザンビアの子どもたちに野球を教えることができました。(神園さんは派遣先の学校で、野球部とバドミントン部の顧問をしていました。)

「世界の笑顔のために」プログラムについては、JICAのウェブサイトから詳細を見ることができます。ザンビア以外の国々からも、いろいろな物品の募集がされています。あなたが神園さんのように、ザンビアや他の途上国へ出かけていくことは難しくても、あなたが支援できることはきっとみつかるはずですよ。



JICAウェブサイト:「世界の笑顔のために」プログラム
～途上国の人々のために、日本でできるボランティア～
<http://www.jica.go.jp/partner/smile/>

ザンビアから日本への贈り物

日本がザンビアや他国に協力支援するばかりではなく、日本もザンビアや他の国々に助けられ支えられているのです。2011年3月11日に起きた東日本大震災では、多くの尊い命が奪われ、たくさんの方が被災され、今なお復興の長い道のりのただ中にある日本です。日本は、多くの国からたくさんの人的、物的、精神的支援をいただきました。ザンビアからも、震災復興支援のための、音楽を通じたあたたかい心が届けられています。

ザンビアの人々から贈られた歌の歌詞をP24に掲載しました。歌の贈り物と共に、ザンビアの心、ザンビアの人々に思いを馳せてみましょう。



A. 施設について

条 件	点数
専用の施設 (コート、ゴール、プール、音楽室、スタジオなど) が必要で、それがないとできない。	0
専用の施設がないと本格的にはできないが、簡単な施設 (一般の体育館、グラウンド、自分の家) で代替することはできる。	1
専用の施設があった方がよいが、やろうと思えばどこでもできる。	2
施設に関係なく、どこでもできる。	3

B. 用具や機材について

専用の用具または機材が必要で、それがないとできない。	0
専用の用具または機材がないと本格的にはできないが、他のもので代替することはできる。	1
専用の用具または機材があった方がよいが、やろうと思えばそれらがなくてもできる。	2
専用の用具や機材は必要ない。	3

C. 仲間について

複数または決まった数のチームメンバーや相手がいないと成り立たない。	0
正式に行う時にはまとまった人数が必要だが、楽しむだけなら少人数でもできる。	1
身近な仲間に声をかけて集めればできる。	2
一人でも、大勢でも、人数に関係なく楽しめる。	3

D. 技術・指導者について

用具や機材の使い方やルールを理解し技術を習得するためには、専門の指導者や熟練した仲間が必要である。	0
正式に極めようと思えば指導者に教えてもらうことが必要だが、ガイドブックなどがあれば、自分たちだけでもできる。	1
楽しむことが目的ならば、指導者はなくても自分たちだけでできる。	2
特別な技術は必要ない。	3

P22 ザンビアから日本への贈り物



ザンビアの女性農民組合の人々より
東日本大震災で被災された方々、そして日本の全ての人々に向けて贈られた歌

私たちが予想もしなかった惨劇が、日本で起こりました
神様、どうか日本と日本の人たちをお助けください
神様、どうぞ生き残った人々をお守りください
神様、どうか日本の友だちの苦難をお救いください
自然の猛威には、人はあまりにも小さな存在です
だから、どうか神様、生き残った全ての人々をお守りください
そして、彼らが癒されるように、彼らに慰めをお与えください



ザンビアの西部州モンゴに在住するミュージシャン有志が作った
日本の震災復興支援ソング

Word to Japan ~日本へ贈る言葉~

日本人よ

あなたの悲しみは、僕たちの悲しみ。 あなたの痛みは、僕たちの痛み。

遠く離れていても、私たちの魂は一つ。 1つの愛、そして神の祝福を。

信じれば何でもできる。 一緒になれば、がんばれる。

必要なことは、ちょっとした想像力。 大きい夢を、そう大きい夢を。

手と手を取り合って助けよう。 今こそ僕たちの愛を示す時。

津波と地震にゆさぶられた福島へ。 アフリカのリーダーたちよ、今こそ共に。

アフリカは一つ。 ザンビアは一つ。 日本の友だちに「こんにちは！」

日本は助けが必要さ。 だから僕たちが助けよう。

君も僕も、そうみんなで。 みんなで助けよう、苦しむ彼らを。

人が人を愛するように、他の人を助けよう。

手を伸ばせば、日本にも届く。 日本は僕らの兄弟・姉妹。

神は誰でも「愛し、与える」。 僕らは神とともに、全力を尽くして助けるんだ。

彼らが立ち上がる日まで。

なんでもいいから持ち寄ろう。 そう「協力」は「強力」だ。

小さなものでもいいから。 それは困っている人の助けにきつとなる。

そしていつか神から祝福されるよ。

そうさ、男女問わず助けよう。 聖人がすでに示したように。

日本が災害に見舞われた... この時こそ!!!

苦しい時、何も聞こえなくなる。 だから、聞こえるまで助け合うんだ。

助けが必要な時、君の助けが必要なんだ。

何でもいいからできることを。

お互いに助け合おう。 遠く日本は助けを求めている。

だから僕からも頼むんだ。 助けよう。 彼らは僕らの友だち。

そして、苦しんでいるんだから。

人がひとを愛するように他の人を助けよう。 彼らには助けが必要さ。 そう彼らを助けよう。

人が人を愛するように。 他の人を助けよう。 彼らには助けが必要さ。 そう彼らを助けよう。

そうさ。 人が人を愛するように。 他の人を助けよう。 彼らには助けが必要さ。

そう、日本を助けよう。 人が人を愛するように。



「Word to Japan ~日本へ贈る言葉~」は、
JICAのなんとかしなくちゃ!プロジェクトサイトで聴くことができます。
http://nantokashinakya.jp/tv/cm/Word_to_Japan.html



ちょっとブレイク

～かつて「北ローデシア」と呼ばれたザンビア～



独立への歩み

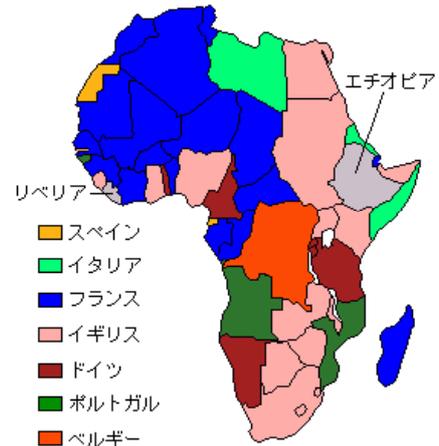


●国旗の中にイギリス国旗が! 植民地だったザンビア

これはザンビアが独立する前の北ローデシアの国旗です。なぜ国旗の中にイギリスの国旗があるのでしょうか? ザンビア独立への歩みを追ってみましょう。

●ザンビアにせまるヨーロッパ各国

以前の 아프리카では、人々は放牧や焼き畑などで暮らしていたため、共同体的つながりはあっても、国家にはなっていないところが多くありました。このような中、1830年代からポルトガルがザンビアの東西にあるアンゴラ、モザンビーク両植民地を結ぼうと入ってきました。一方、アフリカ縦断をめざすイギリスは、ケープタウンから北上してきます。さらにドイツがナミビアとタンザニアに割り込み、それを結ぼうとザンビアにせまってきました。そのうえ、コンゴを国王の私有地としたベルギーが地下資源の豊富なザンビア中央部に、くさびのように入り込んできました。ザンビアの領土は植民地を奪い合うヨーロッパ諸国のせめぎ合いの結果、今の姿になったとも言えるでしょう。右の地図は1913年当時のアフリカです。当時、アフリカで植民地にされていないのは、エチオピアとリベリアだけでした。



[植民地化されたアフリカ]

wikipedia「アフリカ史」

●産金王セシル・ローズの支配



[アフリカを股にかけけるセシル・ローズ]

wikipedia

当時、ダイヤモンドを掘り当てて資金を得ていたイギリスの政治家セシル・ローズは、世界最大の産金王と呼ばれ、ケープ植民地の首相にまで上り詰めました。彼はイギリス南アフリカ会社を設立し、遠征軍を派遣して広大な土地を奪いました。会社はこの地を、征服者ローズの名にちなんでローデシアと命名したのです。ローズは南アフリカに、イギリスの広大な植民地、南アフリカ連邦を建設することをめざしました。また、ケープとカイロ間を電信と鉄道で結ぶ計画を推進しました。ローズは著書のなかで、「神は世界地図が、より多くイギリス領に塗られる事を望んでおられる。できることなら私は、夜空に浮かぶ星さえも併合したい」と豪語しました。まとまったひとつの国がなかったザンビアで、ローズは地域の王たちから地下資源の採掘権を買い取り、王たちの対立を利用して武力支援という形で支配を進めていき、「北ローデシア」という国を作ってしまった。しかし、北ローデシアでは銅山が開発され、労働組合を結成した鉱山労働者たちがストで賃上げを実現するなど生活向上を求める動きが強まり、独立運動も高まってきました。

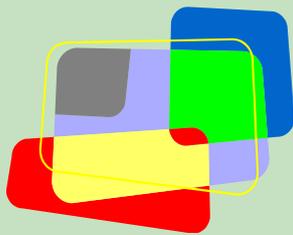
北ローデシアとザンビアに関する年表	
1924年	イギリスは現在のザンビアがある地域を北ローデシア保護領として直轄植民地化した。
1953年	北ローデシアは、南ローデシア(現ジンバブエ)、ニヤサランド(現マラウイ)と共にローデシア・ニヤサランド連邦に改編された。
1963年	南ローデシアの白人が主導していたローデシア・ニヤサランド連邦は黒人層の不満から解体される。
1964年	10月24日、イギリスからザンビアとして独立。

●ザンビアの英断、国連制裁への協力

1964年、アフリカ諸国が次々に独立していく中でザンビアも独立しました。同年、国際連合に加盟したザンビアは、国連の経済制裁決議に従って、アパルトヘイトを敷いていた南アフリカ共和国との経済関係を断ち、さらに翌年、ローデシアが少数の白人支配の存続を望んで一方的独立宣言を行うと、ローデシアの封鎖にも加わりました。これは両国に経済的に依存していたザンビアにとっては大打撃なうえ、ローデシアを経由する銅の輸出ルートも絶たれました。しかし、他の輸出ルートを模索するとともに、銅鉱山を国有化してその儲けでトウモロコシを安価に供給するなど、国民の生活の向上に努めました。

 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



平均寿命46歳 エイズに取り組むザンビア



ザンビアのエイズ問題に対処するためには、何が必要なのだろう？



- 1 まずは、P28の資料1『ザンビアの現状と取り組み』を読みましょう。
- 2 エイズについての基礎知識を整理しておきましょう。

エイズは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス:通称「エイズウイルス」)によって、免疫力が衰える病気です。

HIVの感染経路は、性行為による感染、血液による感染、母子感染などがあります。

エイズはウイルス(HIV)に感染していても、すぐに免疫力が低下するわけではないので、感染していることに気づいていない人がたくさんいます。そのため、そのような人から感染が広まってしまうことが多いのです。

また、母親が感染していると、出産や授乳によって子どもに感染させる危険性が高いので、感染がわかっている場合は、母子感染を防ぐ手立ても必要となります。

エイズはかつては死の病で、免疫力の低下による日和見感染を治療するくらいしか手立てがありませんでしたが、現在ではエイズの発症を防ぐ薬が開発され、完治はできないまでも、薬を飲み続ければ死に至らない慢性病となりました。

エイズの発症を防ぐためには、安価な薬や診断や治療をしてくれる診療所や医師、そして、その診療所へのアクセスが確保されることが必要です。

ザンビアでは、エイズに関する理解を深めるための教育活動やHIVステータス(自分がHIVに感染しているかどうか)を知るための検査を受診することに力を入れています。

- 3 次に、国境なき医師団「MSF」がザンビアで行っている活動について書かれたP.28の資料2『ムワバに授かった赤ん坊』を読みましょう。(高校生以上は、P.31の『資料3:ジェネリック医薬品と貿易自由化交渉』も参考に)
各自、「エイズ感染者が減らない原因」だと思ふところには赤の下線、「エイズ感染者を減らすことに役立つ」と思ふところには青の下線を引いておきましょう。

- 4 4~5人のグループになり、①と②を参考にしながら次のA~Dについて話し合い、下の図のように模造紙にまとめましょう。

A:エイズ感染者が減らない原因 B:その原因を取り除くために必要なもの
C:エイズ感染者を減らすために役立つこと D:Cの活動をさらに進めるために必要なもの

[模造紙]

A: エイズ感染者が 減らない原因	B: Aの原因を 取り除くために 必要なもの	C: エイズ感染者を 減らすために 役立つこと	D: Cの活動を さらに進めるため に必要なもの

- 5 他のグループと模造紙を交換して共有しましょう。また、ザンビアのエイズ問題に対して、現状を改善するために必要だと思うこと、大切だと思うこと、自分にできることなどを、自由に話し合ってみましょう。
- 6 日本もエイズと無縁ではありません。日本の実態や取り組み、課題を調べ、ザンビアの取り組みから学べることはないか考えてみましょう。また、日本とザンビアで協力していけることはないか、考えてみましょう。



資料1『ザンビアの現状と取り組み』

ザンビアのHIV陽性者は約98万人(2009年)にもものぼり、国民の平均寿命は46歳(2010年国連人口基金統計)です。HIV陽性者は、成人(15~49歳)の約13.5%(7人に1人)に達し、働き盛りの年齢層の減少が顕著です。エイズにより両親または片親を亡くし、祖父母や叔父叔母に引き取られる、もしくは兄弟とともに暮らす「エイズ遺児」が推定で約69万人いると言われています。子どもを世帯主とする家庭もあり、事態は深刻です。

ザンビア政府は2005年に「国家保健戦略計画2006-2010」を策定し、エイズの発症を遅らせる抗レトロウイルス薬(ARV)の無料供給を開始するなど、HIV/エイズ対策を強化しており、近年、エイズが原因で亡くなる人の数は減少しつつあります。しかしながら、潜在的なHIV陽性者の多さに対し、自身の感染に気付いている人はまだまだ少なく、HIV抗体検査を受けるようすすめるなど、草の根レベルでのHIV/エイズ対策活動は必要です。

 認定NPO法人難民を助ける会ウェブサイト



▲移動式検査所



▲どの学校にもある HIV 啓発の看板



▲ HIVの検査を受けようと呼びかける

 安藤広実

資料2『ムワバに授かった赤ん坊』

2005年、夫と私はとても重い病気にかかっていると感じていました。私はあまりに具合が悪くて衰弱し、まるで死んだようでした。私たちはまじない師に診てもらおうと思い、夫の母親に相談しました。彼女は、「カピリにある団体が運営している診療所にまずは行きなさい。それで治らなかったら、まじない師に会いに行けばよい。」と言いました。

診療所までの道はとても長かったです。まず、カピリ行きのバスの停留所まで、徒歩で10時間もかかりました。体力が衰えていたので、何度も休憩をとりながら歩き、やっとの思いで停留所にたどり着きました。カピリに到着したときはすでに日が暮れていて、診療所も閉まっていた。そこで、私たちはまた長い道のりを歩いて知人のいるカフワカまで行き、そこで泊めてもらいました。次の日、診療所へ行ってHIVの検査を受けました。検査結果が陽性だと聞いて、何時間も泣きました。もうこれで死んでしまうと思うと涙が止まりませんでした。カウンセラーは、涙がかれるまでそのまま泣かせてくれました。その後、彼女は治療が可能であることを説明し、私に希望をもたせてくれました。そして病院を紹介してくれました。病院で、私は性病にもかかっていることを知りました。下腹部と背中にひどい痛みがあり、立ち上がることもできませんでした。結核にもかかっていたので、私の免疫力はとても弱っていました。結核治療を始めたのですが、治療薬はとても強い薬でした。2ヶ月分の薬をもらい、また診察を受けに来るように言われました。2ヵ月後に診療所に行ったときには、体調はかなりよくなっていました。

村の人たちは、私がHIV陽性だということで私を笑いものにしました。でも、診療所で聞いた話は私に自信を与えてくれました。私は9ヶ月かけて結核の治療を終えることができました。それから医師は、抗レトロウイルス薬による治療を始めよう、と言いました。抗レトロウイルス薬(ARV)を飲み始めても、すぐには体調はよくなりませんでした。ほんとうに健康になったと感じるまで、8ヶ月かかりました。2007年10月、私たちはカピリの診療所の近くに引っ越ししました。

妊娠したとき、私はまだ治療を受けていました。赤ん坊が生まれたとき、6ヶ月経ったら授乳を止めるように診療所で言われたので、その通りにしました。赤ん坊が1才になったときにHIVの検査を受けましたが、結果は陰性でした!1才半になったらまた検査を受けるようにと言われました。

今、私には希望があります。患者同士の支援グループに参加し、活発に活動し、地域にも貢献しています。自分に自信を持っています。病気だったときは目もほとんど見えなかったのに、今ではまたよく見えるようになりました。

<参考: 国境なき医師団ウェブサイト>

アフリカにおける民主主義と平和のオアシス

① 互いの国の良さや、うまくいっている取り組みから学びあい、よりよい未来のために共に力を発揮しあおう!



1



これはザンビアの国旗です。この国旗には、ザンビアの人たちの国づくりへの願いが込められています。それぞれの色や図柄はどのような意味をもっているのでしょうか。

色や図柄が表す意味を考えて、線で結んでみましょう。

<国旗の色と図柄>

<意味>



緑 ●

● 自由のための闘争
独立を勝ち取った人の血



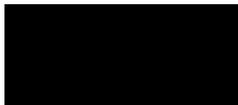
ワシ ●

● 豊かな自然(天然資源)



赤 ●

● 豊富な鉱物資源(銅など)



黒 ●

● 国民(肌の色)



オレンジ ●

● 自由と栄光、そして
困難に負けず突き進む国民の力

2 P.30の解説『国旗に込められた思いと、アフリカにおける民主主義と平和の「オアシス」』を読み、ザンビアの国旗に込められた願いはどのように実現されているか、また課題があるとすればそれは何か、話し合ってみましょう。

3 ザンビアの良いところ、素晴らしいところをうまく活かして、ザンビア国内だけではなく、世界が抱えている様々な課題を解決することはできないでしょうか？ ザンビアから学ぶべきことを出し合ってみましょう。

4 一国だけの力では難しいことも、他の国と協力することで大きな力を発揮できるかもしれません。ザンビアにとって、日本にとって、世界にとって、よりよい未来を共に築いていくために、日本の良さや力を活かして、どのような協力をしていくことができるか、いろいろな可能性を考えてみましょう。



国旗に込められた思いと、アフリカにおける民主主義と平和の「オアシス」

- ◆ザンビアの国旗の緑は天然資源を、赤は自由のための闘争を、黒は国民を、オレンジは豊富な鉱物資源を、ワシは自由と栄光、そして困難に負けず突き進む国民の力を意味します。ザンビアはイギリスの植民地から独立後、周辺、隣国の人種差別に対し決然として抗議の姿勢を取り、銅の搬出ルートを犠牲にしても、黒人の誇りと自由のための信念を貫きました。
- ◆ザンビアは、銅をはじめとして、コバルト、鉄、金、ウラン、マンガンなどの鉱物資源に恵まれた国で、石油・天然ガスも有望視されています。「ザンビアと言えば銅」と言っても過言ではなく、現在でも、ザンビアは世界有数の銅産出国で、銅鉱石の埋蔵量、銅鉱石と銅の生産・輸出とも世界ベストテンに入っています。
- ◆豊かな自然と鉱物資源に恵まれた国ではありますが、植民地支配とその影響により、今まではこれらの資源から得られる利益は十分に国民に還元されてきませんでした。しかし、近年のアフリカへの投資ブームは著しいものがあり、「資本主義最後のフロンティア」として、その経済成長が注目されています。中でも、中国のアフリカ進出はめざましく、ザンビアにおいても、産業の発展に欠かせない銅の確保をめざして、中国企業の進出は激しさを増しています。こうした中で、ザンビアの経済も上向いてきていますが、それが国民全体の利益となるか、貧富の差の拡大に終わるかは予断ならないところです。しかし、冷戦終結後、欧米諸国はアフリカ援助にあたって、相手国が人権擁護や汚職などの腐敗防止、貧困対策を行うことを条件にし、必要に応じては経済制裁なども課して、民主主義や平和の擁護に努めてきました。
- ◆一方、政治面では民主主義が根付き、公正な選挙ができる国という信頼を積み重ね、ザンビアはアフリカでもっとも平和な国のひとつとされています。1991年の複数政党制移行以来のこれまで5回の大統領選挙はいずれも概ね公正に行われ、暴動などによる混乱も起きていません。選挙が民主的、かつ平和裏に行うことができるということは、それだけザンビアの民主主義が成熟したものであると言えるでしょう。
- ◆そして今回、2011年9月20日の大統領選挙でも、それを証明するような結果となりました。この選挙では、前回の選挙で僅差で敗れた野党党首のサタ候補が、現職のバンダ候補を破り、政権が交代することとなりました。このような場合、国によっては政権側が選挙妨害などを行い、野党側に政権を渡さないための様々な工作が行われることがありますが、ザンビアではそのようなことはありませんでした。この選挙結果に対して敗れたバンダ大統領は、「選挙結果を受け入れ、新大統領の政策が実を結ぶことを祈る」と敗北を認めました。この退任演説について、駐ザンビア特命全権大使の江川氏は大使館ウェブサイトで「敗れたバンダ大統領の退任演説は、潔く敗北を認めつつ勝者に祝意と期待を述べ、国民に団結を呼びかけ、また、民主的な政権交代を擁護し、ザンビアの民主主義を守ろうという決意がにじみ出ている、真の政治家らしい格調高い演説だったと思います。今回の選挙、そして政権交代によって、アフリカにおける民主主義と平和の「オアシス」と言われるザンビアの名声がさらに高まることになりました。」と伝えています。また就任式には、ザンビア建国の父であるカウダ初代大統領も立ち会いました。サタ新大統領は、就任演説を行い、その冒頭で、平和裏に秩序ある政権交代を行ったバンダ大統領への謝意を表明しました。
- ◆振り返れば、このカウダ初代大統領も退任の際、選挙結果を受け入れ、潔く退いて政権交代が行われ、国際世論から賞賛を受けた人です。ザンビアにはこのような形で民主主義の良い伝統が築かれていっていると言えるでしょう。
- ◆冷戦の終結とその後の紛争の終息によって落ち着きを見せ始めたアフリカは、新興国の台頭による資源獲得競争の激化という国際情勢の中で、資源保有国を中心にめざましい経済発展を遂げようとしています。また、世界的な経済連携の機運はアフリカ諸国にも訪れ、アフリカ全域の統一を夢見つつ、周辺諸国と地域共同体をつくり、域内連携を強めています。このような中でザンビアは、東・南アフリカ市場共同体 (COMESA) や南部アフリカ開発共同体 (SADC) の一員として、その力を発揮しようとしています。南部アフリカの中心に位置するザンビアは、交通の拠点として重要な役割を果たすだけでなく、民主主義や平和の建設、格差解消と貧困の撲滅のために大いなる活躍が期待されています。



資料3「ジェネリック医薬品と貿易自由化交渉」

アフリカでのエイズ治療をはじめ、国境なき医師団「MSF」が途上国の多くの患者の命を救うことができたのは、ジェネリック医薬品があったからとも言えます。ジェネリック医薬品とは、特許期間が過ぎた新薬と同様の効き目をもつ薬品のことで、開発コストなどがかからないため安い価格で供給されます。ただし、エイズなどのジェネリック医薬品は特許期間が過ぎたものではなく、特許についての国内法が異なるインドなどで作られているものです。そのため、製薬会社は知的財産権の保護を求めて訴訟を起こすこともあります。

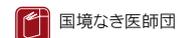
ジェネリック医薬品メーカー間の価格競争は、過去10年間で第一世代のHIV/エイズ治療薬の価格の99%引き下げを可能にし、2002年時点で一人当たり年間1万米ドル(約78万円)だった価格が、現在では一人当たり年間60米ドル(約4,680円)になりました。この劇的な価格の引き下げによって、今日では600万人以上にHIV/エイズ治療を提供できるようになっています。

しかし、このジェネリック医薬品が、今後も安定供給される保障はありません。現在インド政府は、製薬会社の商業利益よりも公衆衛生の保護が優先するという姿勢を取っているため、ジェネリック医薬品の供給は続けられていますが、自由貿易協定などに知的所有権のより厳格な保護規定が盛り込まれると、ジェネリック医薬品の供給はできなくなり、途上国の患者は治療に必要な薬を手に入れることができなくなってしまうでしょう。MSFでは、日本が参加を検討しているTPPIについてもウェブサイトでは以下のように述べています。

・「MSFの治療プログラム、ひいては患者の命が、良質で安価なジェネリック医薬品の供給にかかっていることは、これまで私たちが世界各地で医療を提供してきた経験から明らかです。日本政府がTPP交渉において、知的財産権を厳格に保護する条項の、途上国の患者に及ぼす影響を適切に考慮しなければ、HIV/エイズなどの病気の治療におけるこれまでの進歩が台無しになるでしょう」(MSF日本 エリック・ウアネス事務局長)

・「市場競争を抑制する政策(*)は、安価な医薬品で数百万人の人びとの命を救おうとする取り組みをも阻むものです。途上国における安価な医薬品へのアクセスの促進は、日本の貿易政策の要であるべきです」

(MSF日本 必須医薬品キャンペーン渉外担当 ブライアン・デイビス)



*知的財産権を厳格に保護するという条項を盛り込むという政策は、新薬を開発した製薬会社がその薬の販売を独占し、価格競争が行われなくなってしまう結果を導くという意味(引用者註釈)





第4章

そして未来へ

P.34の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・バプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ペリズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは...?

- 1 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- 2 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 34～35の資料を見て、どんなことを感じますか？
- 3 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(P. 35)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- 4 それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- 5 さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24カ国/地域
+ 5機関

派遣された人数
1,200名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約84億
5,000万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163カ国/地域
+ 43国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126カ国/地域
国際機関
総額175億円以上

(11月1日現在)



スペイン

4月16日、グラナダ県のサグラダ・ファミリア・ヌエストラ・セニョーラ・デルロサリオ小学校の保育部4歳児学級の子どもたち25名が、被災地の子どもたちが必要としている物資が届くよう願いをこめて絵を描きました。



ゲルジア

折紙クラブの子どもたちが折った鶴と企業から贈られたボード

ウクライナ

6月21日、ヴィンニツァ市立青少年芸術合唱教育センター「バルヴィノク」で活動する子どもたちが折り鶴を作成し、また公演活動で得た収益金を義援金として寄付しました。



モンゴル

モンゴル政府より寄付された義援金は、外国の災害に対する同国義援金としては過去最高額です。

ベネズエラ

多大な被害をもたらした長雨被害の復興途上がありますが、義援金を含む多くの支援申し出が寄せられています。



ポルトガル

リスボン市内の小中学校の教員、生徒が約40枚の絵画、ポルトガル語のメッセージ、「勇気」や「希望」等の漢字及び俳句による激励のメッセージが書かれた作品を日本大使館に送りました。

トルコ

4月8日、アイトゥンルク・エベレル小学校5年生30人が日本大使館を訪れ、メッセージや詩を渡し、生徒代表が詩の朗読を行いました。同小学校は、すべてのメッセージや詩を日本語に翻訳し、被災地の小学校に届けようと活動しています。



トルコ救援隊

ザンビア

3月21日、女性支援活動等を行う175のNGOが登録するNGO調整協議会が義援金を手渡しました。



モーリタニア

5月18日、リセ・フランセで、チャリティ・イベントが開催されました。日本の子どもたちとの連帯を示した絵画の贈呈の様様。



ブルキナファソ

3月26日、音楽・演劇NGOがチャリティ・イベントを実施しました。

ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。

心が温くなるメール ~ 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より~

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan(日本のために祈る)」という投稿が届きました。そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。そうしたメッセージやエピソードは「日本の財産である」と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と、たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^_^)



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたいらしい。「日本人でしょう? 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしくちゃ。



誰かに頑張ってもらいたいと願うなら、100回「頑張れ」と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



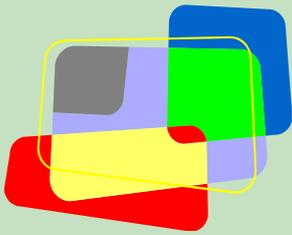
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 资 料



目で見えるザンビア



1964年に独立して、初めて用いられました。赤い色は自由のための戦い、黒は国民、オレンジは鉱物資源、緑は農業、森林資源を表しています。鷲の図柄は自由と困難に打ち勝つことを表していて、植民地時代には魚をつかんでいましたが、現在は独立して自由になったことから魚を放しているデザインになっています。

人口 (2009年)

 12,935,000人



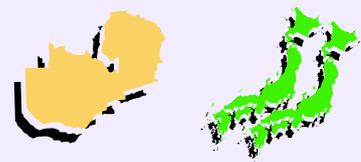
 127,156,000人



面積

 752,610km²
(日本の約2倍)

 377,947km²



宗教

キリスト教 その他 イスラム教
ヒन्दウー教 伝統宗教

民族

73部族(トンガ系 ニャンジア系
ベンバ系 ルンダ系)

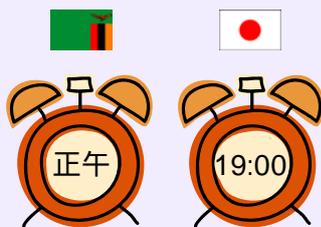
言語

英語(公用語)
ベンバ語 ニャンジア語
トンガ語

通貨

ザンビア・クワチャ

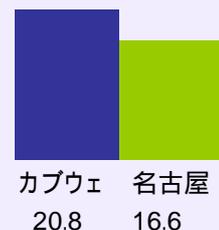
日本との時差 -7時間



気候帯

温帯夏雨気候
ジンバブエ国境付近:
ステップ気候
東南部:サバナ気候

平均気温



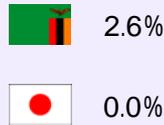
国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』荻安望編著(平凡社) 面積・首都・宗教・民族・言語・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 人口:世界子供白書2011(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 気候帯・平均気温:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温:愛知県ウェブサイト「ポケット情報あいち-土地・気象、人口、農林漁業、事業所」(平成22年) 日本との時差:『世界の国一覧表 2007年版』(財団法人世界の動き社)

主要産業

農業(とうもろこし たばこ
落花生 綿花 コーヒー等)
銅鉱業・加工 建設 食品 飲料 観光



人口増加率 (2000～2009年)



日本との 貿易主要品目

コバルト たばこ 精製銅等



車両及び部品 電気機器等

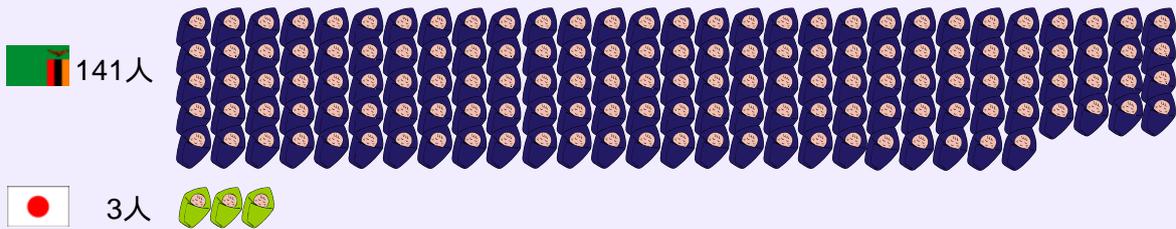
一人あたりのGNI (2009年)

970米ドル

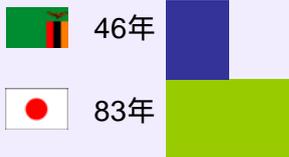
37,870米ドル



5歳未満児の死亡者数 (出生1000人あたり) (2009年)



出生時の平均余命 (2009年)



都市人口の比率 (2009年)

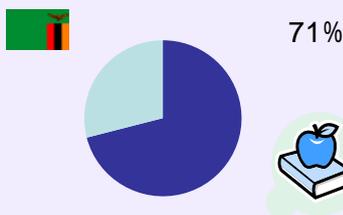


在留邦人数
259人
(2010年10月現在)

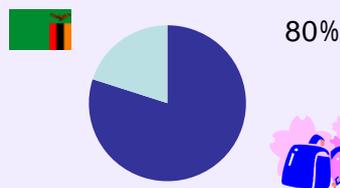


在日当該国人数
101人 (2010年 法務省
外国人登録者数)

成人の総識字率 (2005～2008年)



初等教育 純就学/出席率 (2005～2009年)



1日1.25米ドル未満で 暮らす人の比率 (1994～2008年)



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数: 外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 在日当該国人数: 法務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・人口増加率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率: 世界子供白書2011(ユニセフ)

ザンビア地図





アフリカ





参考文献・データ等の出典

外務省ウェブサイト

『各国地域情勢』 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

『探検しよう! みんなの地球』

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>

『がんばれ日本! 世界は日本と共にある』 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>

『世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)』

http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/

総務省統計局ウェブサイト『日本の統計』 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

在ザンビア日本国大使館 <http://www.zm.emb-japan.go.jp/indexj.html>

国境なき医師団 <http://www.msf.or.jp/index.php>

『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社

『これがアフリカの全貌だ』 青木一能著 かんき社

『アフリカのいまを知ろう』 山田肖子編著 岩波書店

『アフリカ 資本主義最後のフロンティア』 「NHKスペシャル」取材班著 新潮社

『日本人のためのアフリカ入門』 白戸圭一著 筑摩書房

『新書アフリカ史』 宮本正興・松田素二編 講談社

『朝日百科 世界の地理』 中・南アフリカ 野沢敬編集・発行 朝日新聞社

ご協力いただいた方たち【敬称略】

山田 達哉

神園 索己

亀山(安藤) 広実



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 ザンビア共和国 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会

〒460 0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



